

事業所名

児童発達支援らびっと

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7

年

1

月

6

日

法人(事業所)理念	・法人理念 「満足」のやりとり ※自身が「満足」したものを提供すれば、相手にも「満足」が伝わり納得してもらえる ・事業所理念 「そのまんまのあなたが大好き。」 子どもの成長を促すとともに、関わり方の工夫でその子がその子らしく生きられることを目指す。					
支援方針	あそびの中にたくさんの成長ポイントを盛り込みながら、子どもたちが「やってみたい!」「できた!」「楽しい!」を感じられるような活動を提供します。 保育士・言語聴覚士・理学療法士等の多職種によるチーム連携で、運動・言語・集団活動など様々な支援を提供します。					
営業時間	8時	30分	17時	0分まで	送迎実施の有無	(あり) なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	着替え・食事・排泄など日常生活に必要なことや動作を、あそびを通して身に付けられるようにします。目標に向かってスモールステップで取り組み、「できた!」の喜びをたくさん感じられるように工夫し、ご家庭で取り組めるよう情報を共有します。事業所内ではイラストを交えたスケジュールカード、タイマーなどを使いながら見通しがもてるようにしたり、パテーションや個室を活用したりして安心して過ごせるような配慮をしています。				
	運動・感覚	サーキットやボールなど様々な運動あそびを楽しむ中で自分の体の動きを知ったり、姿勢保持、体幹強化に繋がったりできるようにします。また、製作、クッキング、感触あそびなど様々な活動を通して育ちに大切な感覚を刺激し、お子様の成長につながるようにします。				
	認知・行動	あそびを通して時間・物事などの様々な概念を知り、ルールを理解することで適切な行動を学習できるようにします。また、お子様の特性に合わせて「こうすれば過ごしやすい」方法を一緒に探し、集団生活や社会に活かしていけるように支援します。				
	言語コミュニケーション	子どもたちが活用できるコミュニケーション法(言語、身振り、指差しなど)の理解を促し、様々な表現に触れたりするようにします。「自らの思いを伝える」・「相手の思いを受け止める」を知ることによって気持ちのやりとりを感じられるように支援し、困ったことや分からないことを周囲に伝えて手伝ってもらい、要求を伝える、など生活の中で必要なことも身に付けられるようにします。発達段階に応じて文字の習得を促し、言葉や表現の幅が広がるようにしていきます。				
	人間関係社会性	自由あそびでは他児とあそびを共有する機会を持ったり、SSTやルールのあるあそび、ごっこ遊びを通して様々な場面や役割を経験し、身の振る舞いや感情のコントロール方法を知るようにします。				
家族支援	連絡帳のやり取り、LINEを通した活動写真・動画を使って、お子様の様子を共有します。困りごとがあったら定期的な面談に加えていつでも相談できる環境を整えています。	移行支援	必要に応じ園の様子を見学や先生方と情報共有を行います。希望される保護者の方と一緒に「就学サポートブック」の作成を行います			
地域支援・地域連携	園への訪問、連携ノートを使った支援の共有、他事業所との連携を図ります	職員の質の向上	社内研修や外部研修を受ける等、それぞれが自発的に学ぶ意識を持つようにしています。月末には支援経過を職員全員で振り返る場を設けています。			
主な行事等	親子参加イベント、夏祭り、ハロウィンごっこ、クリスマス会、避難訓練(災害・不振者対応を1年に2回以上) など					